

**【表2】JSP0公認スポーツ指導者資格の種類と女性の割合
(メディカル・コンディショニング資格)**

	資格名	男性 (人)	女性 (人)	総称 (人)	女性の割合 (%)
メディカル・ コンディショ ニング資格	スポーツドクター	5,495	465	5,960	7.8
	アスレティック トレーナー	2,669	784	3,453	22.7
	スポーツデンティスト ^(※)	226	9	235	3.8
	スポーツ栄養士	20	233	253	92.1

引用：男女共同参画局「男女共同参画白書 平成30年版」

(※) 歯科医師がスポーツに携わる人たちの口の中と歯の健康管理を行い、最高の結果を出せるようにサポートするスペシャリストのこと

特有の問題、家庭との両立、メンタル的な相談もしやすいでしょう。同性の視点で女性アスリートに寄り添うことができるスタッフは、選手が安心して競技に専念できる環境づくりに欠かせない存在です。にもかかわらず、なぜこんなに少ないのでしょうか。

例えば女性コーチの活躍には、指導する環境や機会の不足、選手と同様に家庭や育児と両立させることが困難、女性コーチ対象のセ



ミナーや資格取得に関する学びの機会の不足など、さまざまな課題があります。

また、アスリートに一番近い現場でサポートしている人達は、ほぼボランティアで活動しているスタッフが多く、経済的な援助が少ないことも課題。ある程度の収入があれば、家族の理解を得られたり、家庭や育児との両立もしやすくなるでしょう。これらの課題を解決し、女性スタッフが増えれば、女性アスリートもこれまで以上に活躍できるのではないのでしょうか。

**選手もスタッフも
女性が活躍しやすい
スポーツ界へ**

JSC(独立行政法人日本スポーツ振興センター)では、ナショナルトレーニングセンターに女性アスリートの相談窓口や託児室などを設けており、選手だけでなく、女

性スタッフも利用しています。さらに順天堂大学医学部附属病院や東京大学附属病院では「女性アスリート外来」を開設し、選手をサポートしています。

女性アスリートの活躍をサポートする女性スタッフを増やすために、スポーツ庁がJSCに委託して実施された「女性エリートコーチ育成プログラム」をはじめ、大学などの民間でも、女性コーチを育成す

る取り組みが進められています。

コーチだけでなく、運営側にも女性を増やし、女性アスリートの立場を理解したスタッフによる環境づくりも重要。そこで、スポーツ庁では、各種スポーツ団体で女性役員割合を4割にすることを目標にして、女性役員の増員に取り組んでいます。女性アスリートには指導者や役員を目指したいと考える人も多く、今後の活躍が期待されています。

エッセイの本棚から

歴史を変えた 50人の女性アスリートたち

著者：レイチェル・イグノトフスキー
翻訳：野中モモ
出版社：創元社



【内容】

「女は弱い!」と女性をしめ出してきた近代スポーツ界に飛びこみ、圧倒的な能力と粘り強さで記録と歴史をぬりかえてきた女性アスリート50人にスポットをあて、その驚くべき成績やバイタリティあふれる人生をチャーミングなイラストとともに紹介します。



©大田区

